

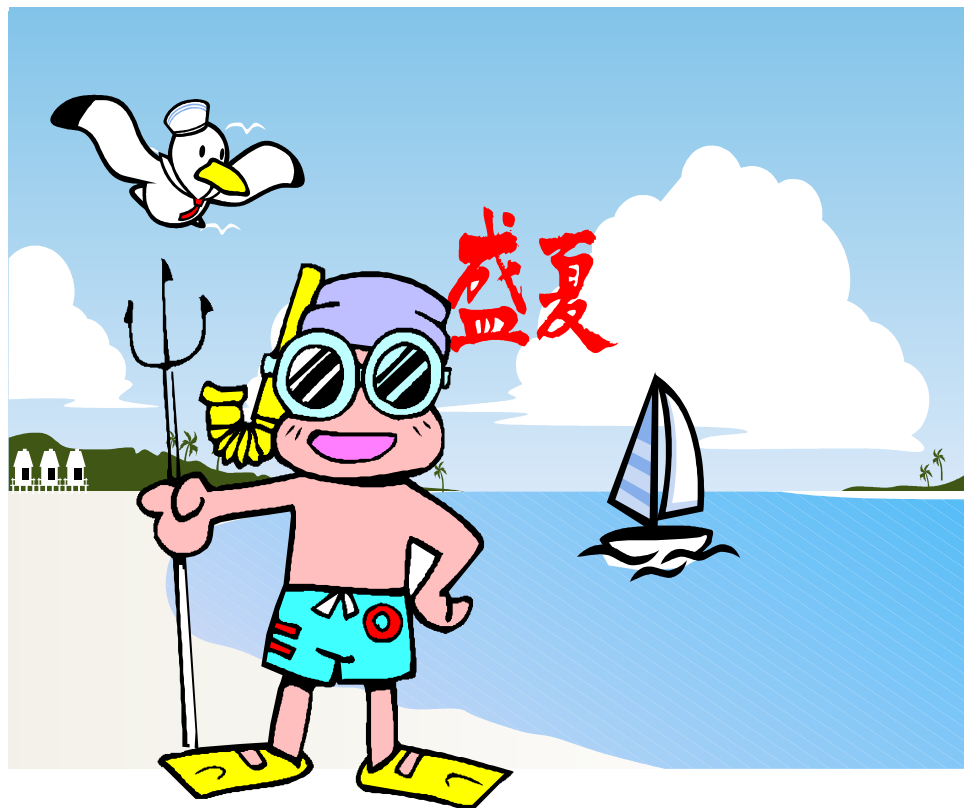
平成23年7月

事故分析だよ

4

夏 休 み 期 間 中
児 童 ・ 生 徒 の 交 通 事 故 発 生 状 況

(平成20年～22年、3年間の夏休み事故から)



「園児」とは、幼稚園(保育所等を含む)に入っている者、「幼児」とは園児以外の未就学児をいう。

1 交通事故発生状況

一日平均の発生比較では、発生件数、死傷者数とも、夏休み期間中が期間外・年平均を大きく上回る。夏休み期間中の死亡事故は、四輪車同乗(1人)。

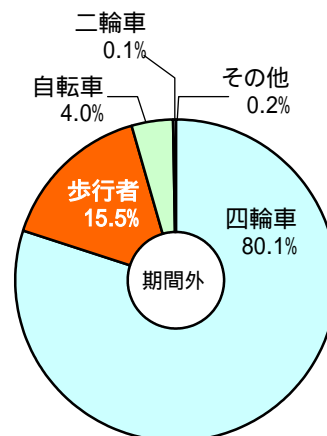
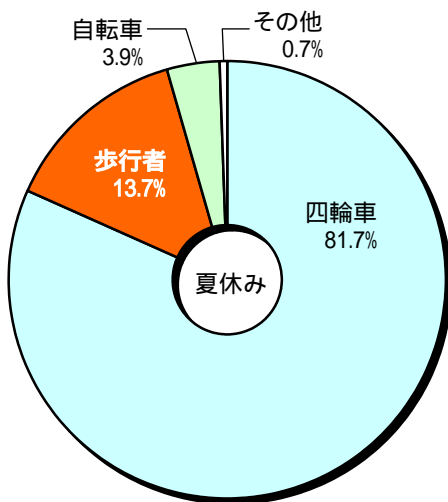
	夏休み	期間外	3年間	一日平均の発生		
				夏休み	期間外	3年間
発生件数	133	775	908	1.03	0.80	0.83
死者数	1	10	11	0.01	0.01	0.01
負傷者数	152	904	1,056	1.18	0.93	0.96
死傷者数	153	914	1,067	1.19	0.95	0.97

夏休み期間は平成20～22年(3年間)の7/20～8/31日(43日間)に発生した事故とし、日数は「夏休み」129日(43日×3年)、「期間外」は夏休み以外の967日(322日×3年+閏年(H20年)1日)、「3年間」1096日(365日×3年+1日)で算出した。

2 状態別死傷者数

四輪車同乗(81.7%)が最多、次いで歩行者(13.7%)が多い。夏休み期間中は、期間外に比べ四輪車同乗の比率が高く、歩行者は低い。

		夏休み
四輪車	同乗	125
二輪車	同乗	
自転車	同乗	4
	同乗	2
	歩行者	21
	その他	1
合計		153

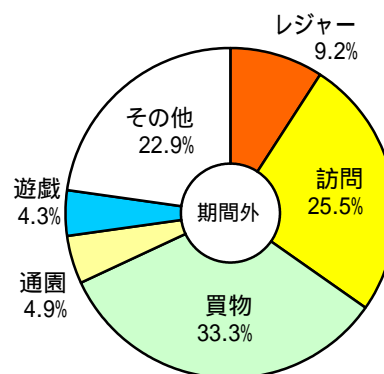
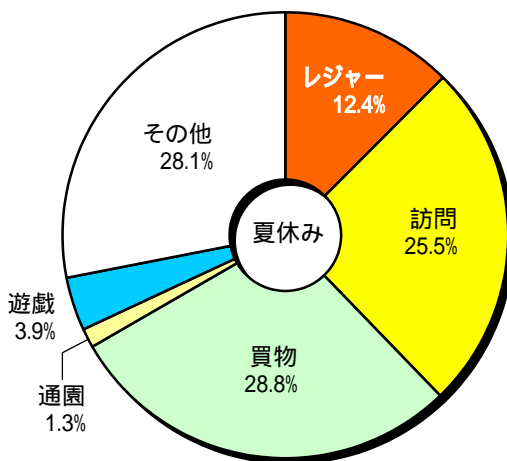


1 「四輪車」、「二輪車」は同乗者のみ。
2 「その他」は物件内等にいた人。

3 通行目的別死傷者数

「買物」(28.8%)が最多、次いで「訪問」(25.5%)が多い。夏休み期間中は、期間外に比べ「レジャー」(1.3倍)の比率が高い。

		夏休み
レジャー	観光娯楽	14
	ドライブ	1
	帰省	4
	訪問	39
	買物	44
	通園	2
	遊戯	6
	その他	43
合計		153

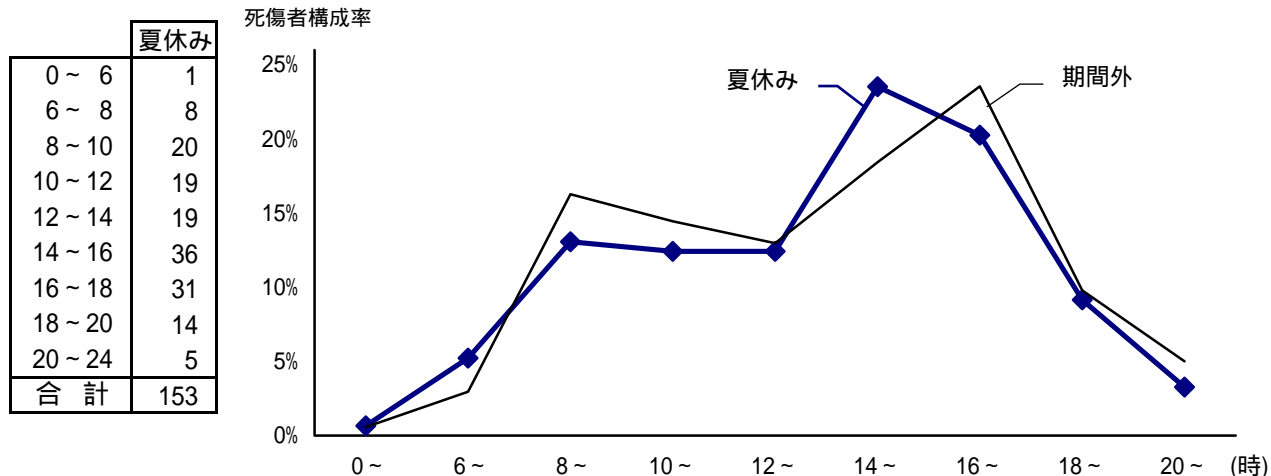


「レジャー」は観光娯楽・ドライブ・帰省の合計。「観光娯楽」にはスポーツを含む。

同乗者の通行目的は、運転者に準ずる場合がある。

4 時間帯別死傷者数

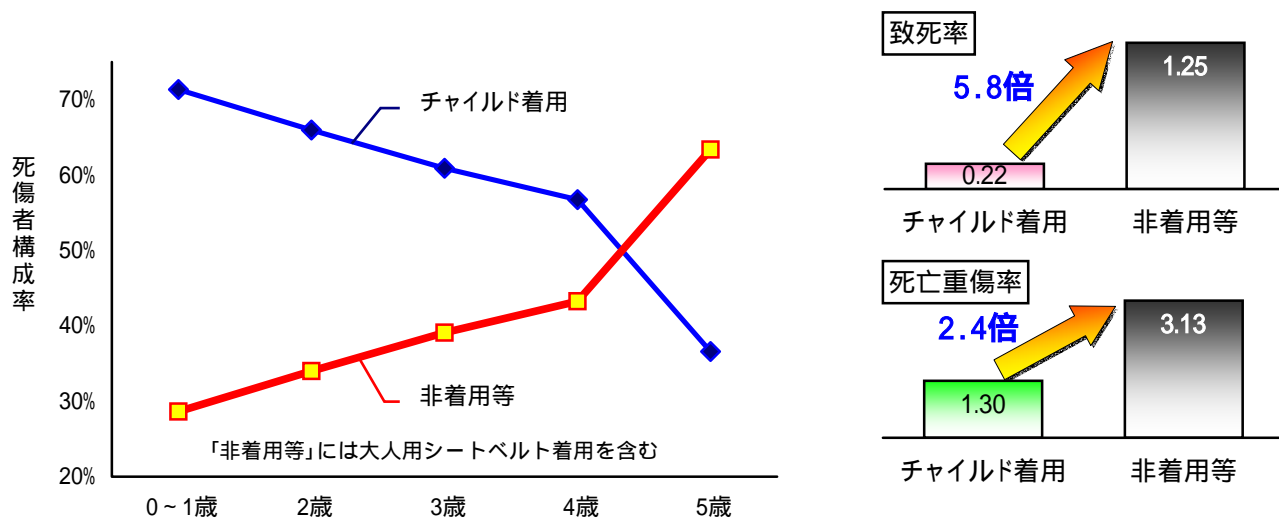
14～16時が最多、次いで16～18時が多い。
夏休み期間中は、期間外に比べ14～16時の比率が高い。



5 四輪車同乗中6歳未満幼児のチャイルドシート着用別死傷者数(過去3年間累計)

「チャイルドシート着用」の死傷者構成率は、「0～1歳」の71.4%から「5歳」では36.6%と、年齢が上がるに連れ低下。

「非着用等」死傷者の致死率(1.25)は、着用死傷者(0.22)の5.8倍、死亡重傷率では2.4倍も高い。



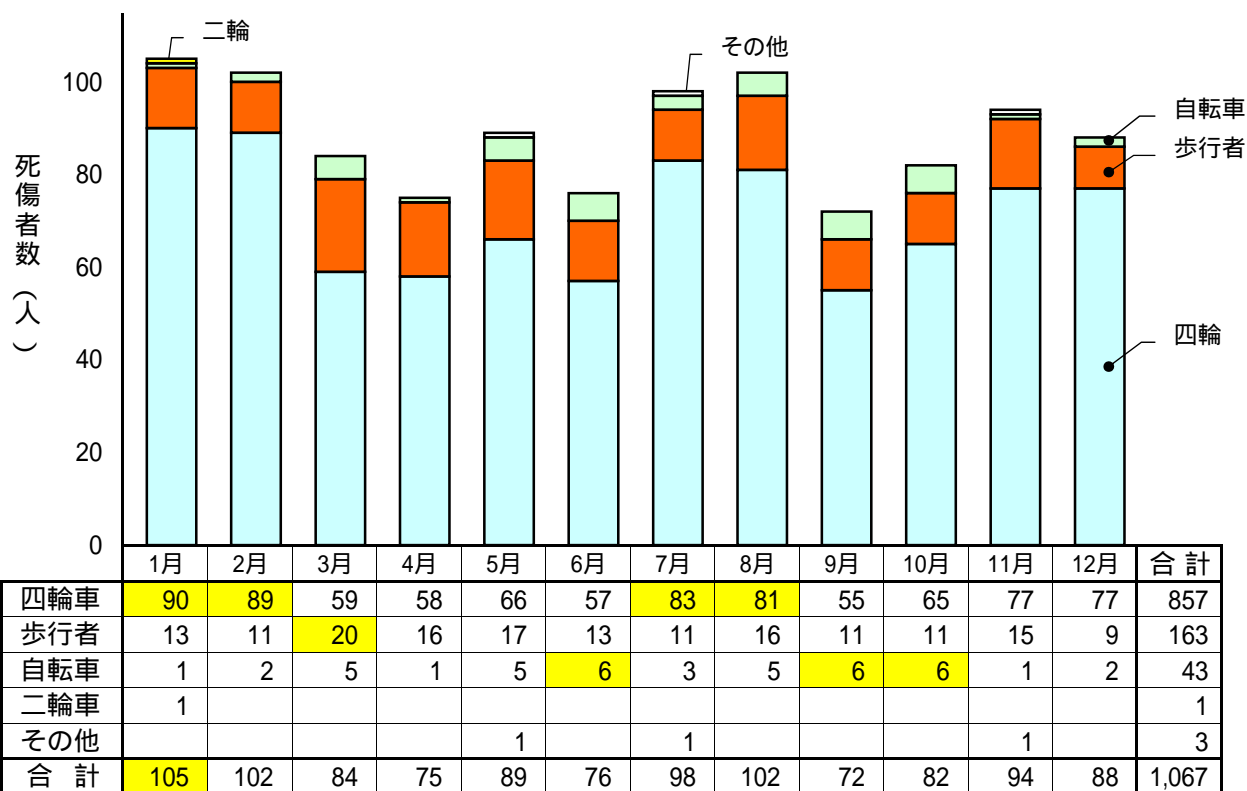
	チャイルド着用				合計	非着用等				合計	チャイルド着用	非着用等
	死亡	重傷	軽傷	合計		死亡	重傷	軽傷	合計			
0～1歳		1	146	147		2	57	59	206	71.4%	28.6%	
2歳	1		96	97	2	1	47	50	147	66.0%	34.0%	
3歳		1	80	81	1		51	52	133	60.9%	39.1%	
4歳		3	77	80		2	59	61	141	56.7%	43.3%	
5歳			56	56	1	1	95	97	153	36.6%	63.4%	
合計	1	5	455	461	4	6	309	319	780	59.1%	40.9%	
	致死率			0.22	致死率			1.25	倍率	5.8倍		
	死亡重傷率			1.30	死亡重傷率			3.13		2.4倍		

1 6歳未満の幼児には、チャイルドシートを着用させる義務があります。
 2 「致死率」とは、事故による損傷が死亡となる率で、死者÷全死傷者×100。
 3 「死亡重傷率」とは、事故による損傷が死亡又は重傷となる率で、(死者+重傷者)÷全死傷者×100。

6 月・状態別死傷者数

1月(105人)が最多、次いで2月・8月(各102人)。

状態別では、四輪車同乗は1月・2月・7月・8月が80人を超え多く、歩行者は3月が最多。



1 事故が発生した月で、計上された月ではない。 2 「四輪車」は同乗者のみ。「その他」は物件内等にいた人。

7 事事故例

日 時	7月下旬、午後 8時頃	事故の当事者	幼児(男) 幼児(女)	種 別	四輪車同乗	損 傷	軽傷 軽傷	備 考	海水浴の帰り チャイルドシート 着用なし
場 所	高速道路上	事故類型	車両単独・工作物	衝突相手	物件	概要	乗用車がガードレールに衝突し、同乗者6人が車外放出され、大人2人が死亡、4人が重軽傷を負ったもの。(車外放出された6人は、全員シートベルト等非着用)		
見取り図									
事 故 に 遭 わ な い た め に									
<p>シートベルトは全席着用が原則です。 車に乗るときは、まず大人が手本となり、必ず着用しましょう。 幼児を車に乗せるときは、体格や成長に合わせたチャイルドシート等を、必ず着用させましょう。</p>									

1 交通事故発生状況

一日平均の発生比較では、発生件数、負傷者数とも夏休み期間中が、期間外・年平均を大きく上回る。夏休み期間中の死亡事故は、過去3年間発生なし。

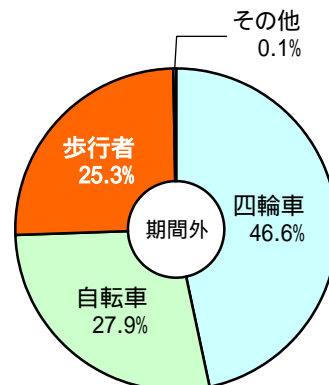
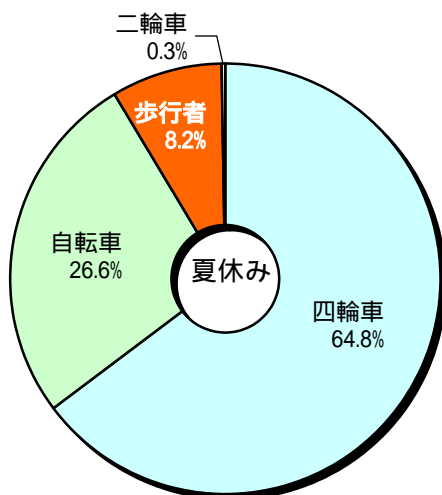
	夏休み	期間外	3年間	一日平均の発生		
				夏休み	期間外	3年間
発生件数	263	1,508	1,771	2.04	1.56	1.62
死者数		8	8		0.01	0.01
負傷者数	304	1,643	1,947	2.36	1.70	1.78
死傷者数	304	1,651	1,955	2.36	1.71	1.78

夏休み期間は平成20～22年(3年間)の7/20～8/31日(43日間)に発生した事故とし、日数は「夏休み」129日(43日×3年)、「期間外」は夏休み以外の967日(322日×3年+閏年(H20年)1日)、「3年間」1096日(365日×3年+1日)で算出した。

2 状態別死傷者数

四輪車同乗(64.8%)が最多、次いで自転車(26.6%)が多い。夏休み期間中は、期間外に比べ四輪車同乗の比率が大幅に高く、歩行者は低い。

		夏休み
四輪車	運転	
	同乗	197
二輪車	運転	
	同乗	1
自転車	運転	80
	同乗	1
歩行者		25
その他		
合計		304

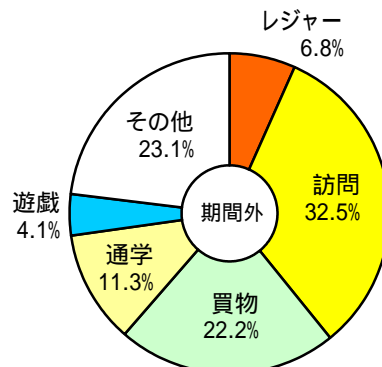
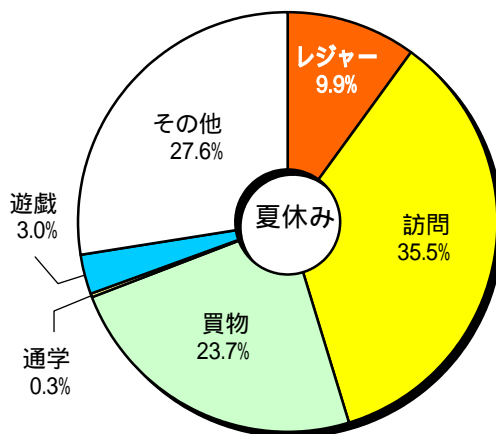


1 「四輪車」、「二輪車」は同乗者のみ。
2 「その他」は物件内等にいた人。

3 通行目的別死傷者数

「訪問」(35.5%)が最多、次いで「買物」(23.7%)が多い。夏休み期間中は、期間外に比べ「レジャー」(1.5倍)の比率が高い。

		夏休み
レジャー	観光娯楽	20
	ドライブ	2
	帰省	8
訪問		108
買物		72
通学		1
遊戯		9
その他		84
合計		304



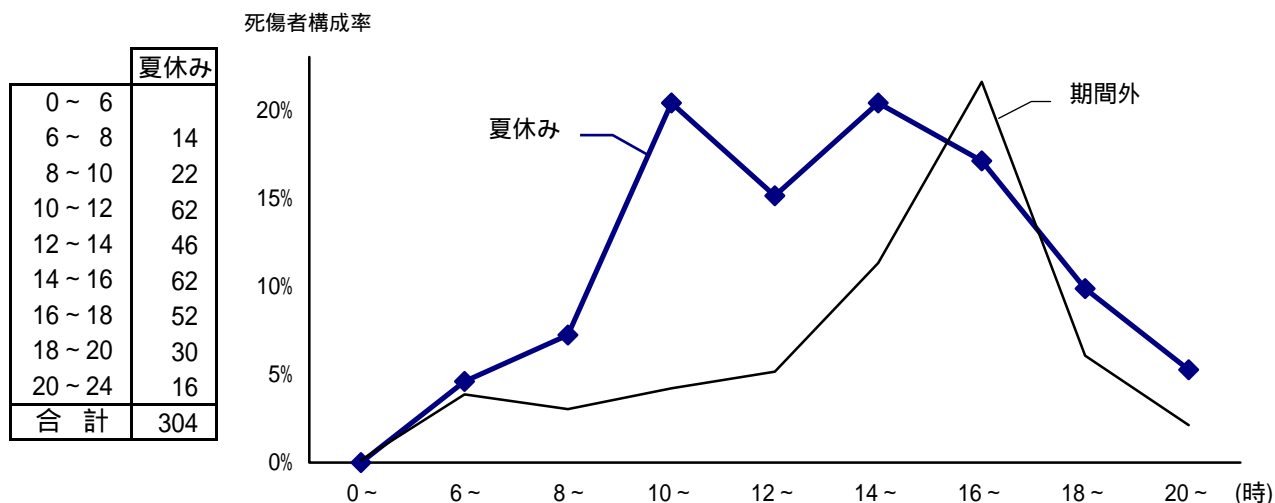
「レジャー」は観光娯楽・ドライブ・帰省の合計。「観光娯楽」にはスポーツを含む。

同乗者の通行目的は、運転者に準ずる場合がある。

4 時間帯別死傷者数

10～12時, 14～16時が最多。

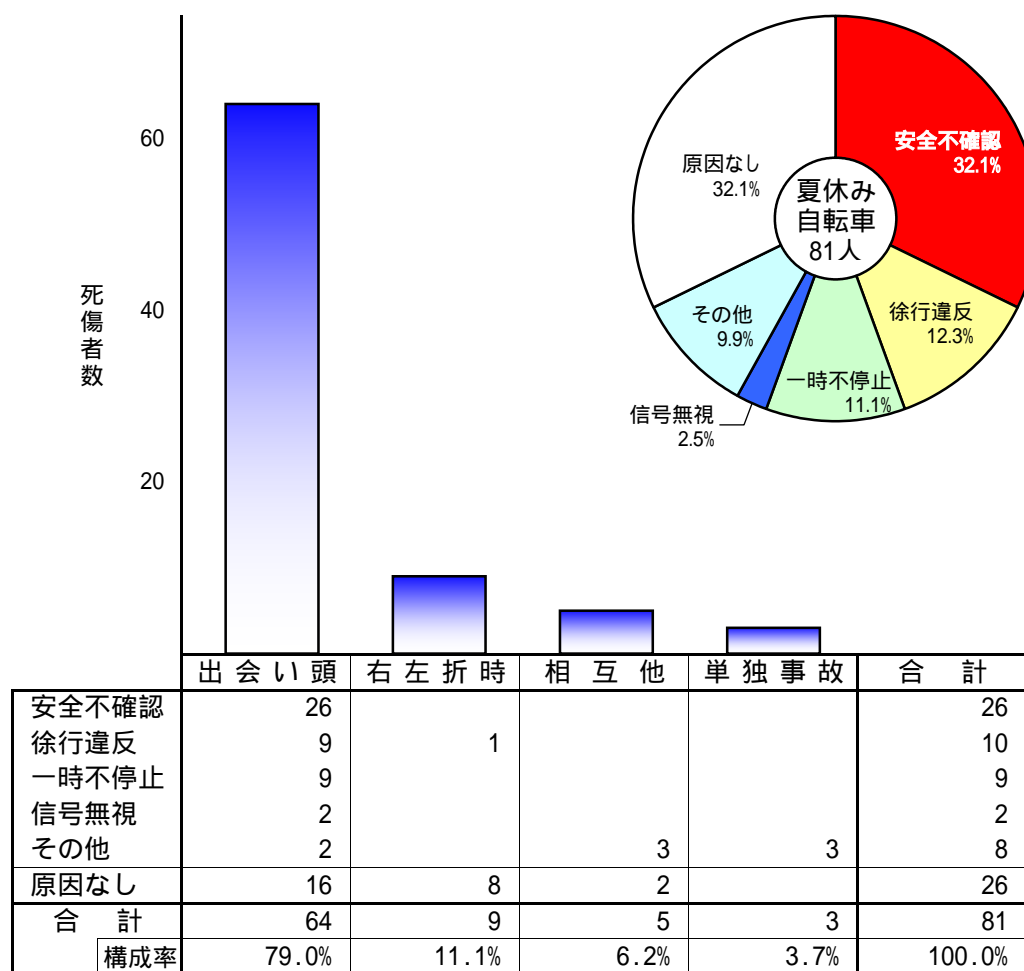
夏休み期間中は、期間外に比べ6～16時, 18時以降の比率が高い。



5 自転車の事故類型・原因別死傷者数

事故類型では「出会い頭衝突」(79.0%)、原因では「安全不確認」(32.1%)が最多。

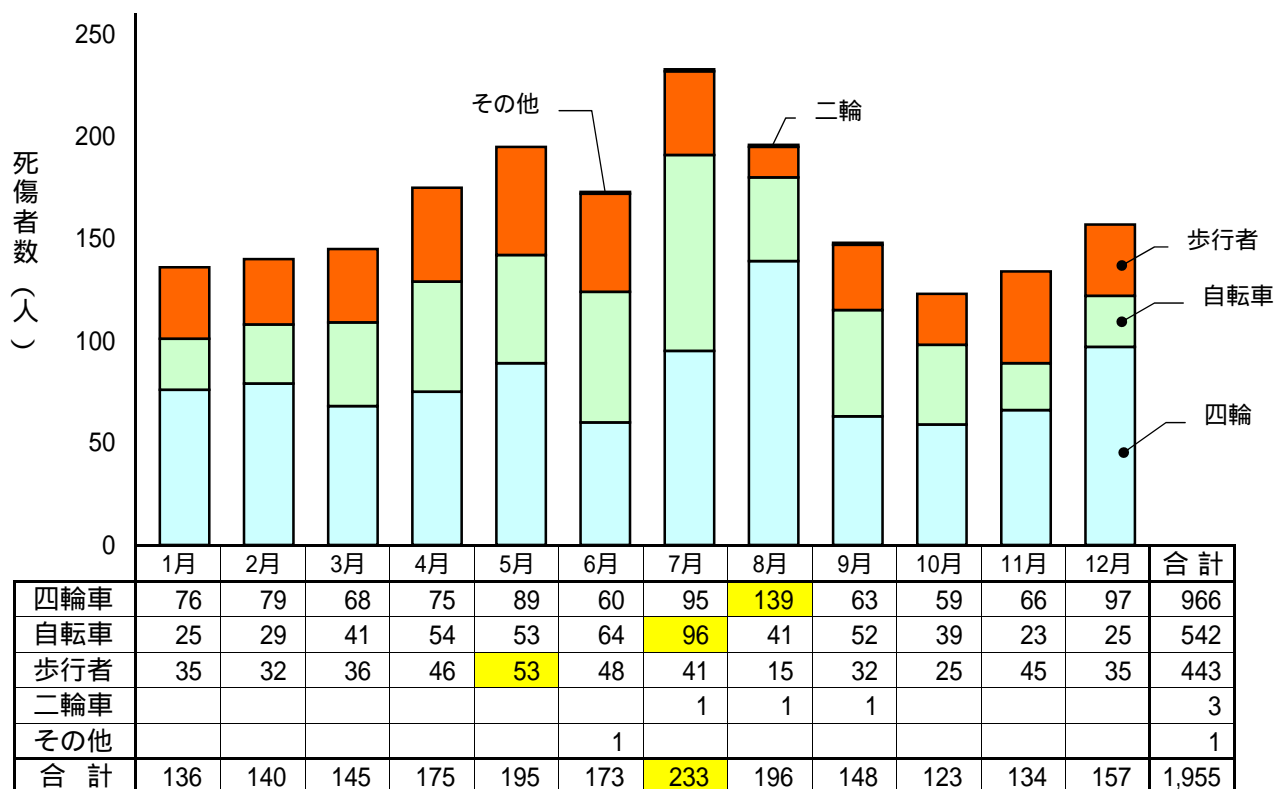
安全不確認による出会い頭衝突が多い。



6 月・状態別死傷者数

7月(233人)が最多、次いで8月(196人)。

状態別では、四輪車同乗は8月、自転車は7月、歩行者は5月が最多。



1 事故が発生した月で、計上された月ではない。 2 「四輪車」、「二輪車」は同乗者のみ。「その他」は物件内等にいた人。

7 事件事例

日時	8月上旬、午後 6時頃	事故の当事者	種別	損傷	備考
場所	住宅街の直線道路	小学5年生(男)	自転車	軽傷	友人と遊び中
事故類型	車両相互・出会い頭衝突	衝突相手	乗用車		
概要	自転車の小学生は、先に直線道路を横断した友人に続き横断し、左方から進行中の乗用車と衝突。				
見取り図					
事 故 に 遭 わ な い た め に					
交通量の少ない道路でも、油断は禁物。「先に誰か渡ったから大丈夫」とは限りません。 見通しの悪い場所では必ず止まり、左右の安全を確認しましょう。 自転車に乗る時は、ヘルメットを着用し、歩道を走行する時は歩行者を優先しましょう。					

1 交通事故発生状況

一日平均の発生比較では、発生件数、負傷者数とも夏休み期間中が、期間外・年平均を上回る。
夏休み期間中の死亡事故は、過去3年間発生なし。

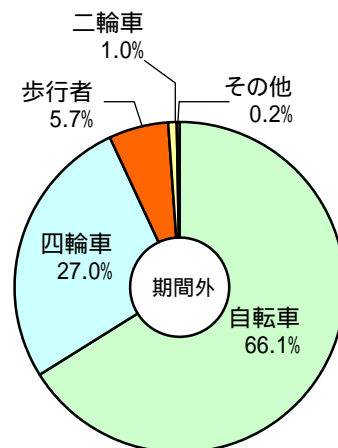
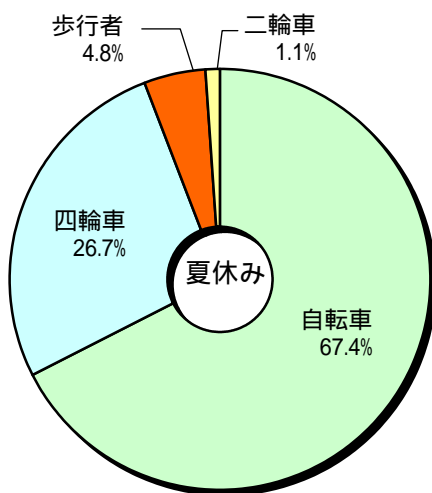
	夏休み	期間外	3年間	一日平均の発生		
				夏休み	期間外	3年間
発生件数	183	1,156	1,339	1.42	1.20	1.22
死者数		3	3		0.00	0.00
負傷者数	187	1,192	1,379	1.45	1.23	1.26
死傷者数	187	1,195	1,382	1.45	1.24	1.26

夏休み期間は平成20～22年(3年間)の7/20～8/31日(43日間)に発生した事故とし、日数は「夏休み」129日(43日×3年)、「期間外」は夏休み以外の967日(322日×3年+閏年(H20年)1日)、「3年間」1096日(365日×3年+1日)で算出した。

2 状態別死傷者数

自転車(67.4%)が最多、次いで四輪車同乗(26.7%)が多い。
夏休み期間中は、期間外に比べ自転車の比率が高く、歩行者は低い。

		夏休み
四輪車	運転	50
	同乗	2
二輪車	運転	123
	同乗	3
歩行者		9
その他		
合計		187

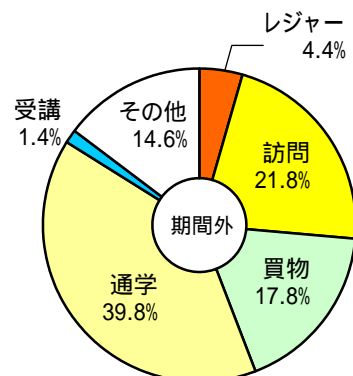
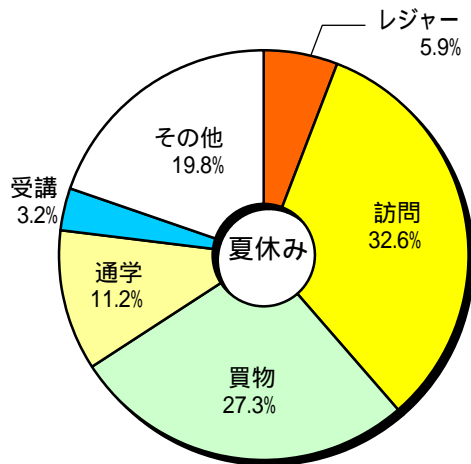


1 「四輪車」、「二輪車」は同乗者のみ。
2 「その他」は物件内等にいた人。

3 通行目的別死傷者数

「訪問」(32.6%)が最多、次いで「買物」(27.3%)が多い。
夏休み期間中は、期間外に比べ「受講」(2.3倍)、「訪問」、「買物」(各1.5倍)の比率が高い。

		夏休み
レジャー	観光・ドライブ	8
	帰省	1
	その他	2
訪問	61	
買物	51	
通学	21	
受講	6	
その他	37	
合計	187	

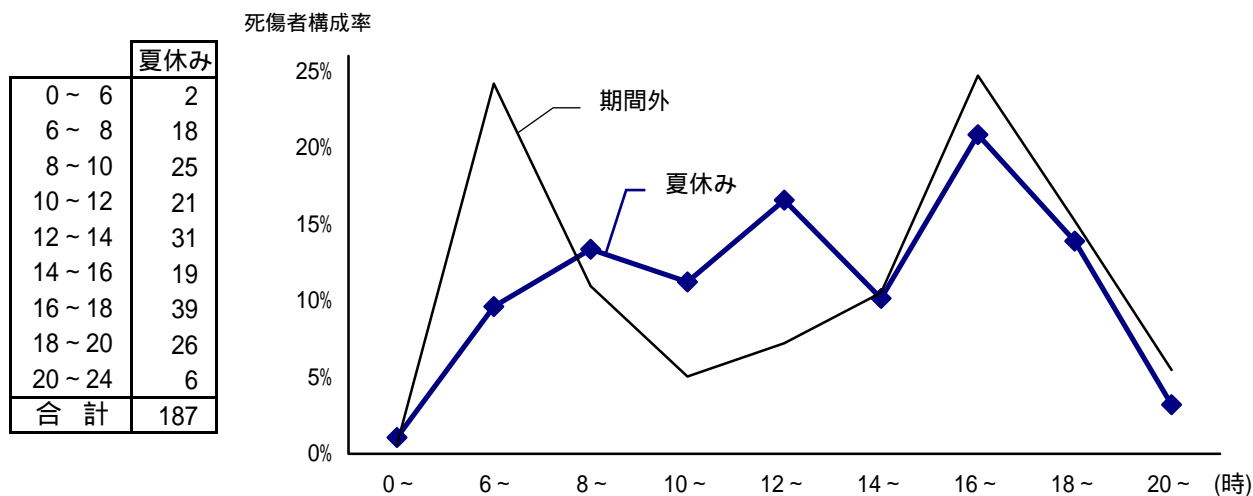


「レジャー」は観光・ドライブ・帰省の合計。
「観光・ドライブ」にはスポーツを含む。

同乗者の通行目的は、運転者に準ずる場合がある。

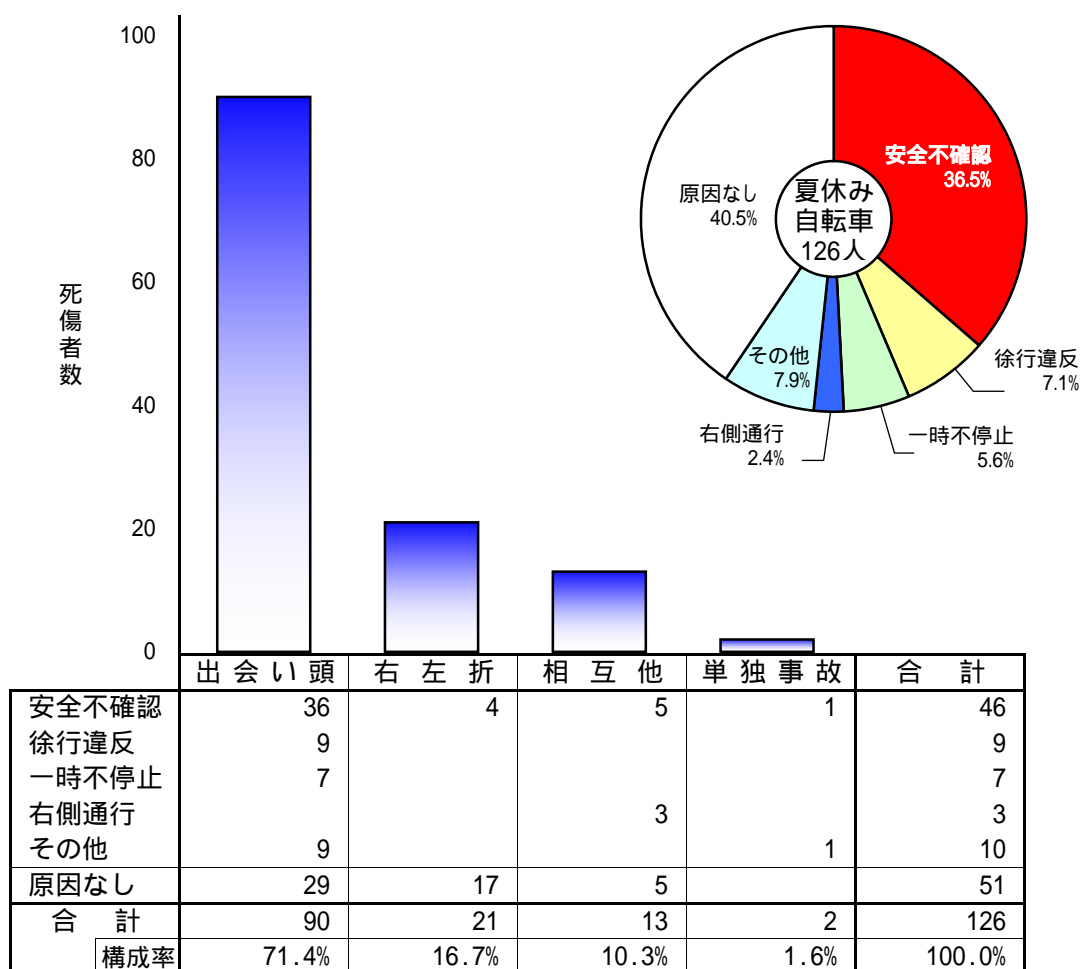
4 時間帯別死傷者数

16～18時が最多、次いで12～14時が多い。
夏休み期間中は、期間外に比べ8～14時の比率が高い。



5 自転車の事故類型・原因別死傷者数

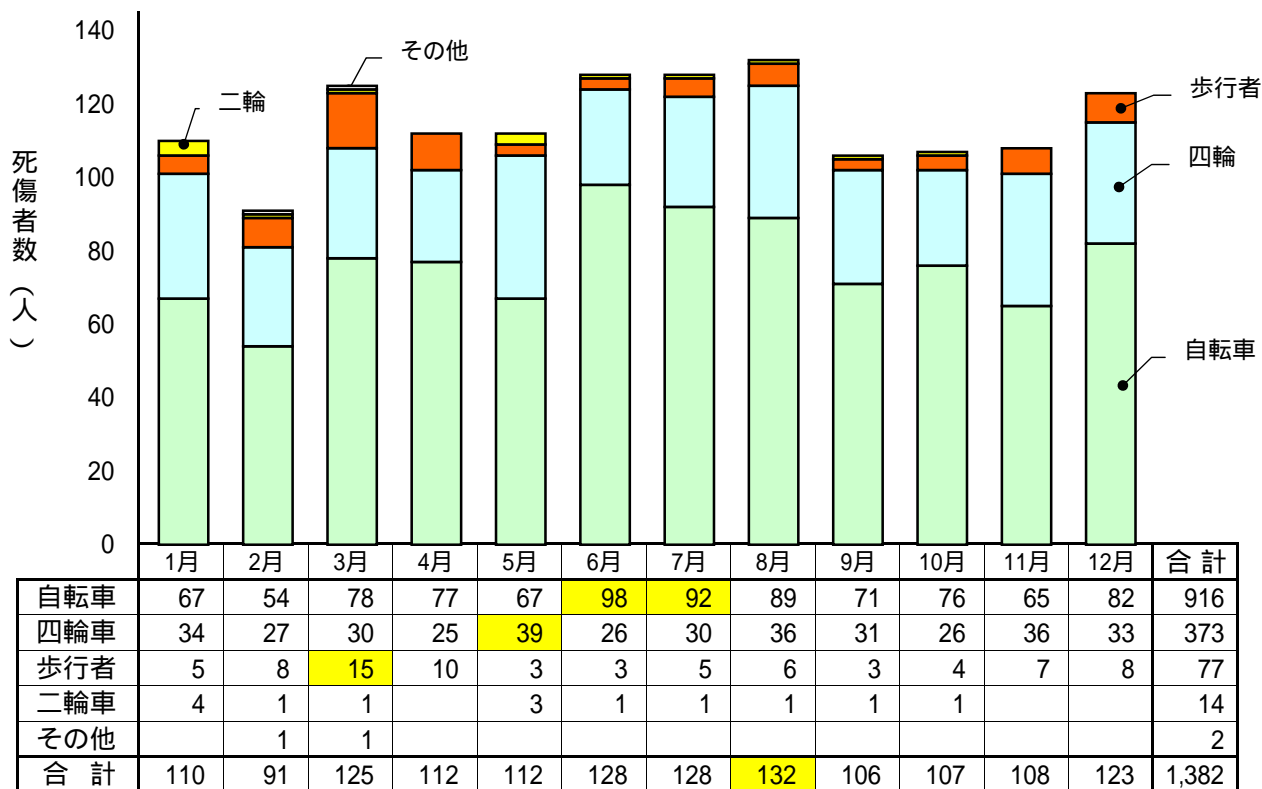
事故類型では「出会い頭衝突」(71.4%)、原因では「安全不確認」(36.5%)が最多。
安全不確認による出会い頭衝突が多い。



6 月・状態別死傷者数

8月(132人)が最多、次いで6月・7月(各128人)。

状態別では、自転車は6月・7月が90人を超え多く、四輪車は5月、歩行者は3月が最多。



1 事故が発生した月で、計上された月ではない。 2 「四輪車」、「二輪車」は同乗者のみ。

7 事件事例

日時	8月上旬、午後 6時頃	事故の当事者	種別	損傷	備考
場所	住宅街の交差点	中学3年生(男)	自転車	軽傷	買い物へ行く途中
事故類型	車両相互・出会い頭	衝突相手	貨物車		
概要	自転車の中学生は、見通しの悪い丁字路を右折の際、右方から進行中の貨物車と衝突。				
見取り図					
事故に遭わなかったために	交通量の少ない道路でも、油断は禁物。「いつも車は来ないから大丈夫」とは限りません。 見通しの悪い場所では必ず止まり、左右の安全を確認しましょう。 一時停止や徐行など、交通ルールは必ず守り、歩道を走行する時は歩行者を優先しましょう。				

1 交通事故発生状況

一日平均の発生比較では、発生件数、死傷者数とも、夏休み期間中が、期間外・年平均を下回る。
夏休み期間中の死亡事故は、原付運転(1人)、原付同乗(1人)。

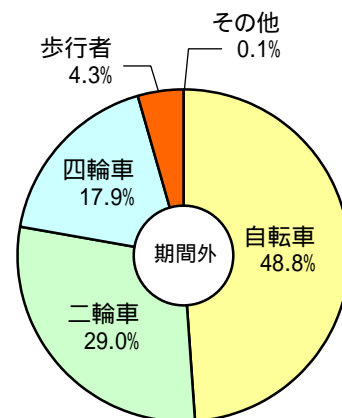
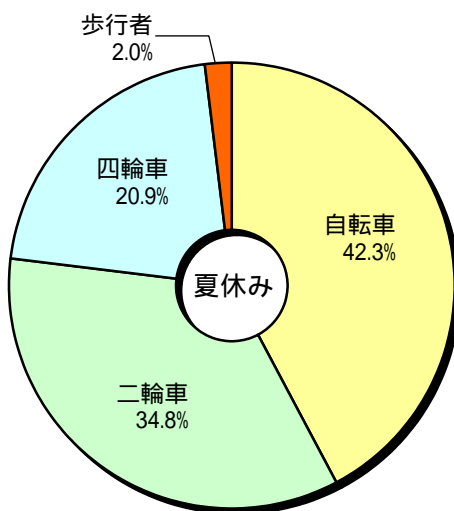
	夏休み	期間外	3年間	一日平均の発生		
				夏休み	期間外	3年間
発生件数	255	2,564	2,819	1.98	2.65	2.57
死者数	2	17	19	0.02	0.02	0.02
負傷者数	251	2,514	2,765	1.95	2.60	2.52
死傷者数	253	2,531	2,784	1.96	2.62	2.54

夏休み期間は平成20～22年(3年間)の7/20～8/31日(43日間)に発生した事故とし、日数は「夏休み」129日(43日×3年)、「期間外」は夏休み以外の967日(322日×3年+閏年(H20年)1日)、「3年間」1096日(365日×3年+1日)で算出した。

2 状態別死傷者数

自転車(42.3%)が最多、次いで二輪車(34.8%)が多い。
夏休み期間中は、期間外に比べ二輪車の比率が高く、自転車は低い。

		夏休み
四輪車	運転	3
	同乗	50
二輪車	運転	82
	同乗	6
自転車	運転	106
	同乗	1
歩行者		5
その他		
合計		253

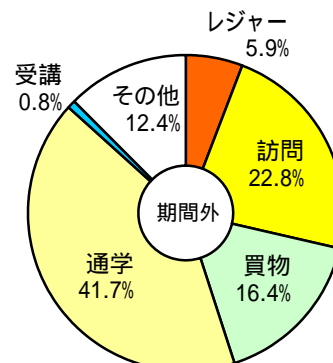
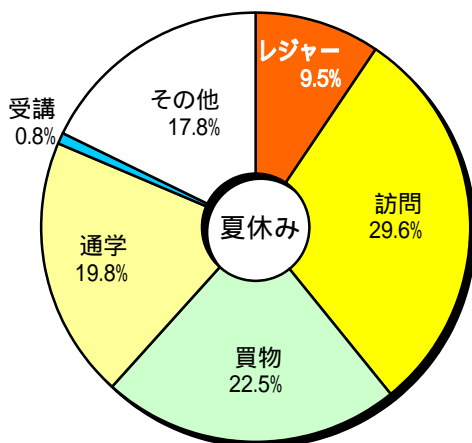


「その他」は物件内等にいた人。

3 通行目的別死傷者数

「訪問」(29.6%)、「買物」(22.5%)、「通学」(19.8%)が多い。
夏休み期間中は、期間外に比べ「レジャー」(1.6倍)、「買物」(1.4倍)の比率が高い。

		夏休み
レジャー	観光娯楽	8
	ドライブ	14
	帰省	2
訪問		75
買物		57
通学		50
受講		2
その他		45
合計		253

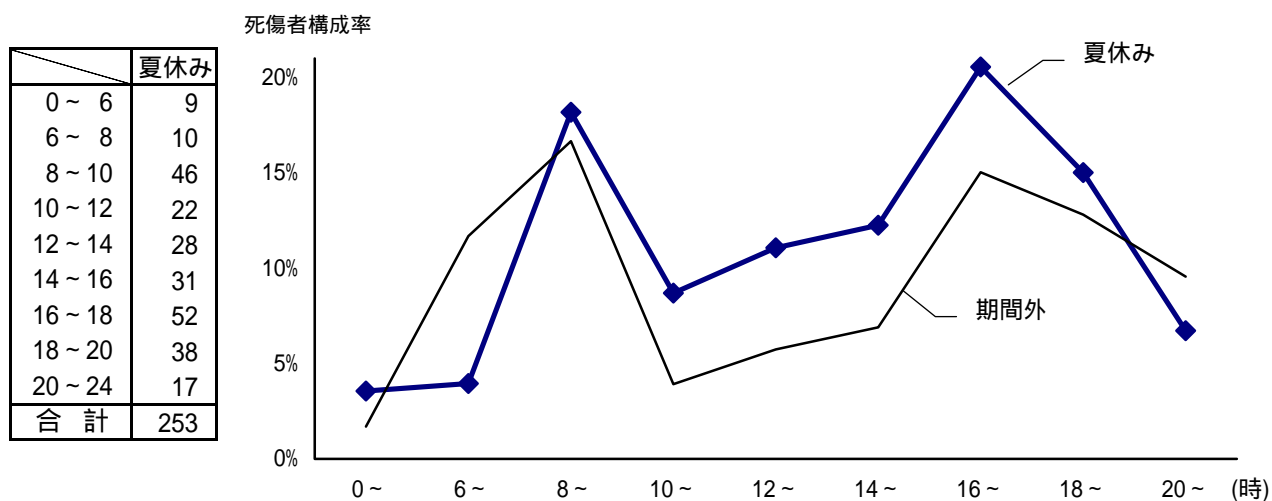


「レジャー」は観光娯楽・ドライブ・帰省の合計。「観光娯楽」にはスポーツを含む。

同乗者の通行目的は、運転者に準ずる場合がある。

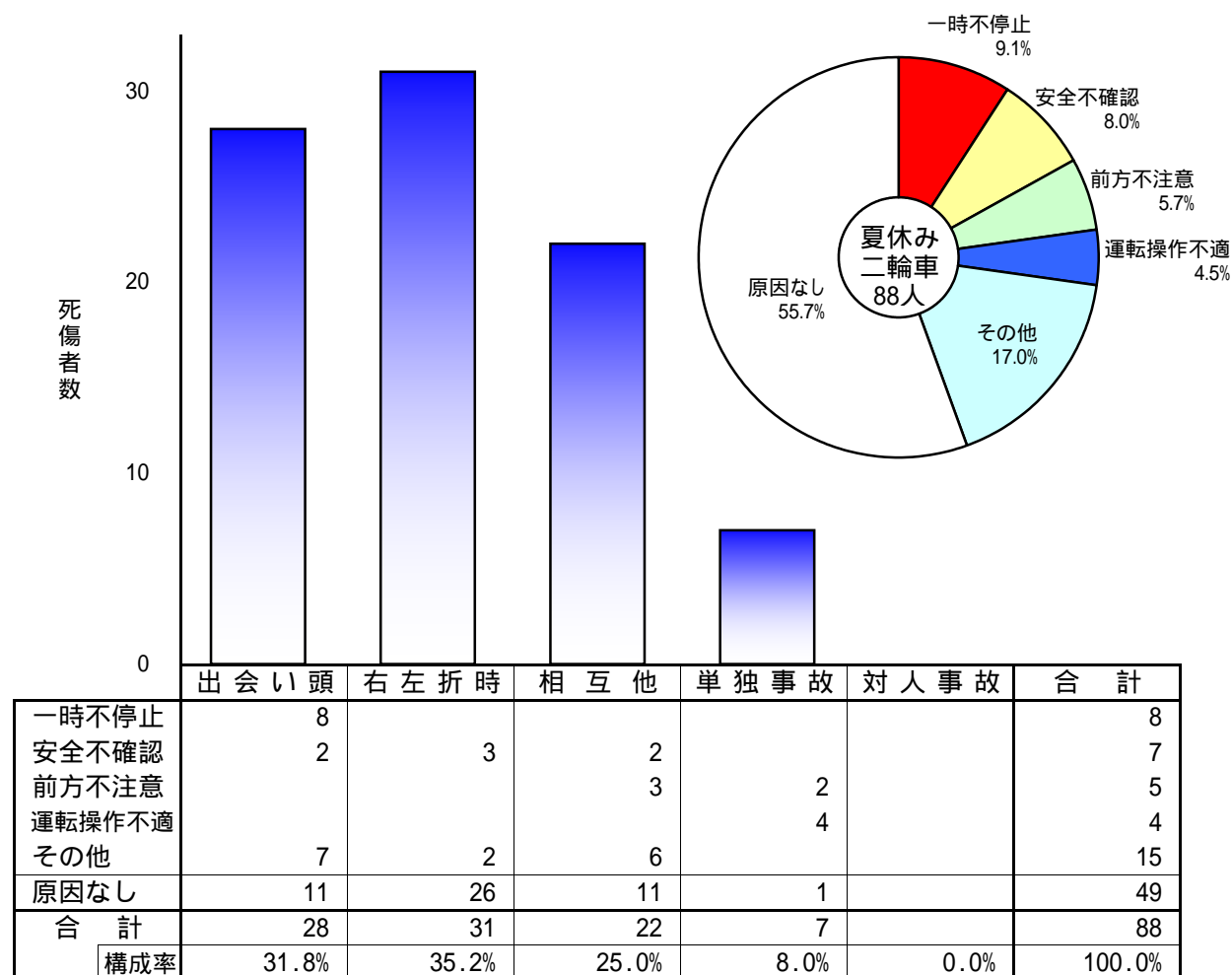
4 時間帯別死傷者数

16～18時が最多、次いで8～10時が多い。
夏休み期間中は、期間外に比べ8～18時の比率が高い。



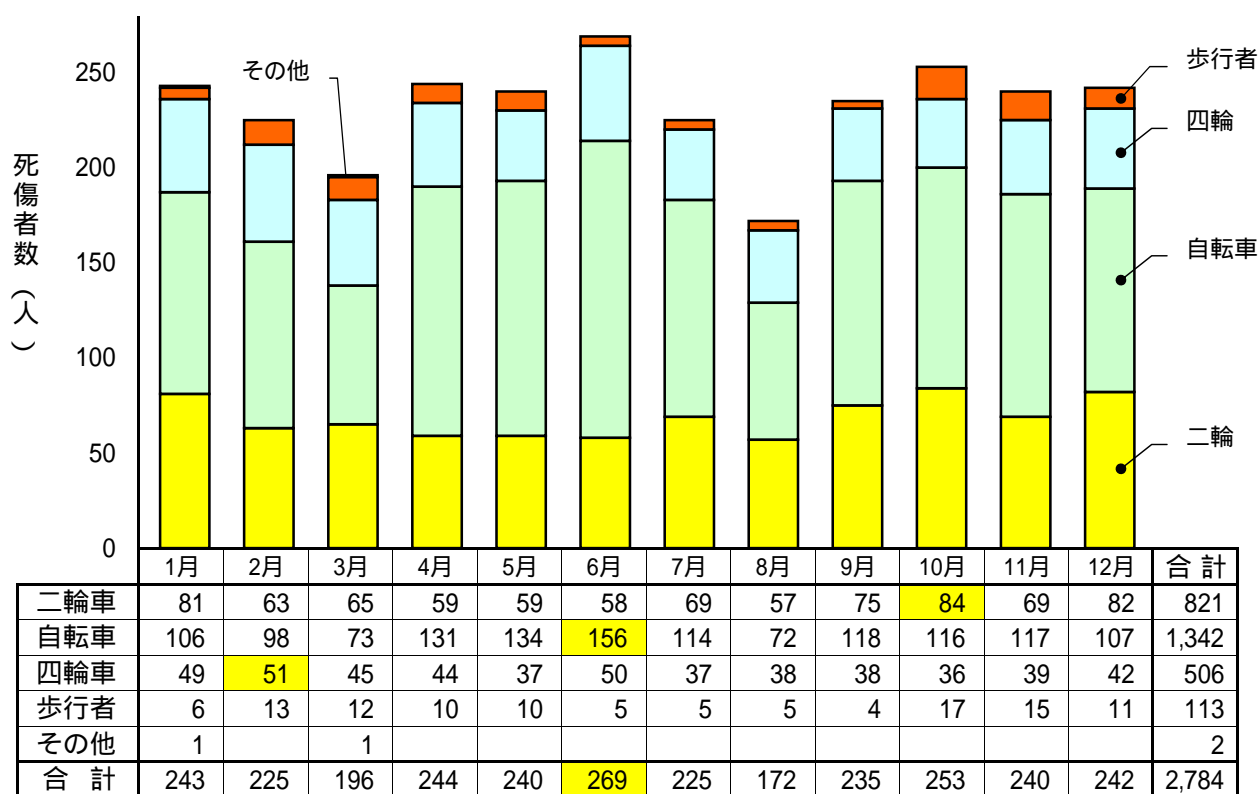
5 二輪車の事故類型・原因別死傷者数

事故類型では「右左折時衝突」、「出会い頭衝突」、原因では「一時不停止」、「安全不確認」が多い。
一時不停止による出会い頭衝突が多い。



6 月・状態別死傷者数

6月(269人)が最多,次いで10月(253人)。
状態別では、二輪車は10月、自転車は6月が最多。



1 事故が発生した月で、計上された月ではない。 2 「その他」は物件内等にいた人。

7 事件事例

日 時	8月上旬、午前5時頃	事故の当事者	種 別	損 傷	備 考
場 所	郊外のカーブ(県道)	高校2年生(男) 高校1年生(男)	原付運転 原付同乗	死亡 軽傷	友人宅訪問の帰り
事故類型	車両相互・正面衝突	衝突相手	貨物車		
概 要	原付バイクを2人乗りした高校生(運転・同乗)は、緩い左カーブを進行中、道路右側へ進出し、対向の貨物車と正面衝突。				
見取り図					
事 故 に 遭 わ な い た め に					
<p>原付は1人乗りです。定員以上で乗れば、不安定となり危険です。 無謀な運転は厳禁、スピードを抑え、一時停止や徐行など、交通ルールは必ず守りましょう。 バイクに乗るときは、必ず規格に合ったヘルメットを着用し、あごひもをしっかり締めましょう。</p>					